



碧南ロータリークラブ週報

第2408回例会 平成20年5月7(水)

●会長 鈴木 敏弘 ●幹事 石橋 嘉彦 ●会場監督 新美 宗和
(SAA)

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール

■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp

■会報委員 新美惣英・長田和徳・平岩辰之・杉田 茂



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリーは
分かち合いの心

● 齊唱

国 歌 「君が代」

ロータリーソング 「奉仕の理想」

● 四つのテストの唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

碧南市経済環境部 環境課長 角谷 唯高氏



鈴木 敏弘会長

会長挨拶

今年のゴールデンウィークは天候に恵まれ、気持ちの良い春をお楽しみになられたと存じます。近頃は温暖化の成果などわかりませんが、春が短く夏が長い状況で、これから暑さ対策を考えなければならない時期に入ります。

この連休中も 25°C以上を記録しました。今から十分お身体に気を付けて長い夏場を乗り切って頂きます様お願い致します。

4月23日、24日の両日、永坂隆一さんの通夜、密葬にロータリークラブを代表し、石橋幹事と共に参りさせて頂きました。

密葬は大変しめやかに営まれ、永坂隆一さんのご苦労されて築かれた社業、そして生前中の社会でのご活躍の思い出話し等が参列者の涙を誘わされた葬儀でありました。

どうぞ、永坂さん、安らかにおやすみ下さい。

4月25日（金）4クラブの会長幹事事務局員並びに次年度会長・幹事の懇談会がありまして、出席致しました。

私共の年度は、今までの思い出の話題を中心で次年度は顔合わせと今後の事が話し合われた事と存じます。いずれにしても、本年度の会長は大変笑顔の多い話しばかりがありました。

今日は、タイの国についてお話をさせて頂きます。微笑の国とも言われ、仏教寺院が多く、人口の9割が仏教徒であります。首都のバンコクはアジアの十字路、または東洋のベニスとも呼ばれ、欧州はじめ日本からも観光やビジネスなど多くの人が訪問しています。

江戸時代初期、日本との交流が始まり、山田長政が渡航してアユタヤに日本人町を形成し、今でも記念の石碑が建てられておりバンコク旅行には欠かせない観光地となって、アユタヤは世界文化遺産にも登録されています。

気候は熱帯に属し、乾季と雨季に分かれ、日本のように四季が無く年中毎日30度を超す酷暑の気候であります。

タイへ旅行すると夜店や水上マーケットが観光コースに織り込まれています。

そこで、熱帯特有のフルーツを味わうことが出来ます。

バナナ、マンゴー、パイナップル、パパイヤ、果物の女王 マンゴスチン、フルーツの王様 ドリアンなど色々あり、特にドリアンは独特の異様な強い臭いを放つためホテル内は持ち込み禁止となっています。又、果物は日本への持ち込みは殆ど植物検疫により禁止となっております。

お楽しみのタイ料理では、トムヤンクンと呼ばれる世界の3大スープがあり、熱帯特有のスパイスの効いた少し酸味の味で、エビの入った名物料理です。タイ国へ訪問したら是非賞味下さい。

またお土産の推薦品は、空港内で販売している蘭の切花セットです。2000円位で購入出来、箱入りで長時間耐えられるように処置がされています。

ゴルフでは、日本では考えられないように、キャディーが1プレイヤーに2人付き、バックを持ちスコアを記入し、暑いため日傘を持ってなどの何処かの王様になった感じです。以上でございます。今日もよろしくお願ひ致します。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- ・5月よりロータリーレート（現行1ドル 98円）が1ドル102円に変更
- ・本年度並びに次年度役員・理事・委員長のメールボックスに事業報告
並びに事業計画について原稿用紙を入れておきましたので、締切期日
までに原稿を提出して下さい。
- ・本日、例会終了後201号室において第11回理事会を開催します。



石橋嘉彦幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数78名(内出席免除者11名の内出席者 9名)出席者74名	
出席対象者 74／76名	出席率 97.37%
欠席者 4名(病欠者 0名)	前々回修正出席率 96.00%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

原田 達八君 ちょっといい事がありました。

平岩統一郎君 出張が続きました。

鈴木 輝彦君 4月22日付でISO14001を認証取得しました。環境にやさしい会社づくりに邁進していきます。

堀田 益隆君 来る10日(土)、新入職員歓迎「けんしん55ウォーク」を役職員160名の参加予定で開催します。

〈雑誌委員会〉

- ・ロータリーの友 5月号 ⑯ページ歌壇入選歌

青木 稔君 電飾を解かれしあとの裸木の梢に架かる赤き満月

〈親睦活動委員会〉

会員誕生日

6日 池田 弘孝君	8日 小林 清君	8日 柳原 健君 (還暦)
9日 犬塚 敦統君	9日 新美 宗和君	11日 鈴木 並生君
18日 新美 真司君	19日 山中 寛三君	19日 長田 昌昇君
23日 鈴木 昭洋君	27日 竹中 義雄君 (還暦)	30日 岡田 赴勇君

奥様誕生日

7日 加藤丈太郎君の奥様 美恵子様	9日 杉浦 晴彦君の奥様 有美様
13日 加藤 良邦君の奥様 妙子様	22日 伊藤 正幸君の奥様 亮子様

29日 原田 達八君の奥様 智恵子様

結婚記念日

1日 新美 惣英君・直美様 20年
5日 長田 豊治君・妙子様 34年
6日 加藤 良邦君・妙子様 38年
14日 清澤 聰之君・トキ様 21年
17日 伊藤 正幸君・亮子様 21年
24日 中根 佑治君・澄恵様 38年

3日 角谷 信二君・晴美様 20年
5日 竹中 誠君・みのり様 29年
9日 山中 寛三君・美智子様 61年
15日 亀山 裕一君・美恵子様 31年
17日 黒田 泰弘君・真美子様 16年

入会記念日

10日 織田 典隆君 12日 杉浦 健次君

卓

話

「碧南の環境問題について」

碧南市経済環境部環境課長 角谷 唯高様

皆さん、こんにちは。

地球温暖化の関係も含めて、お話をさせて頂きます。

私、環境課は4年目になりました。その前は、衣浦ポートアイランドに3年勤め、ゴミの関係では7年になります。

私、現場が大好きで碧南の体育館の裏の公有水面という大きな溝がありまして、そこにゴミが多く溜ります。なんとかゴミが取れないかと思い、ゴム長靴を履いて30~40cm位のヘドロの中へ踏んごみながらゴミを取りました。



碧南の川という川のゴミを取ってきれいにしたいと思い、あちらこちら走り回っております。私のゴミ掃除の体験談をお話しすることにより、皆様と一緒に碧南の町をキレイに環境の良い町にしたいと思い、日夜奮闘しております。

最初に大気についてお話し致します。

空気の問題は、大体改良されています。自動車の排気ガスが良くなつたおかげもあって、今はかなり良い傾向にあります。ただし、昔は光化学スモッグで発生するオキシダントについては、碧南だけでなく、愛知県全域できれいになつております。

一つには環境省は公式見解ではありませんが、中国の影響だと言われています。特に九州では、黄砂が降ってくる時期と光化学スモッグの発生度が重なつてあります。これを言うと国際問題になつてしまふので、確証のないうちは言えません。

しかし、環境省のお役人は、それが原因を思つてゐるようです。

碧南市は、空気は悪くなつております。改善の傾向に向つてます。

次に水で一番頭を悩ませているのは『油ヶ淵』であります。全国的にワースト4~6位の位置におりまして、ワースト10から出たことはない状況であります。

改良しようとして、安城から流れています「半場川」があります。「半場川」の場所は鷺塚団地の方から安城に向つて、最初に橋があります。そこに流れている川が「半場川」であります。途中で「朝鮮川」と「半場川」に分かれています。「朝鮮川」は西尾地の米津の矢作川の下流を流れて来まして、非常に水はきれいです。鮎もいるようです。

「半場川」に入ると汚いですが、平成18年・19年の環境基準のDODをクリアしました。これは、今までで初めての事で快挙であります。「半場川」の水質は良くなつてきつてるので、そのうちにキレイになると思います。

「油ヶ淵」に流れてくる川より「油ヶ淵自体」が若干汚いのか、又は内部に汚染があるのかよく分かりませんが、「油ヶ淵」がきれいにならないと、県営公園になるのに恥ずかしいです。

水がきれいですと良い感じであります。 私の好きな郡上八幡の川は、川底まで透きとおっており、側溝に流れている水も同じ様にきれいです。このような環境になかなか実現出来ませんが、今後も一生懸命に取り組んでいきます。

碧南の周辺の川は、下水道の整備により、かなりきれいになってきました。大浜港に流れて行きます「堀川」ですが、非常にきれいになりました。15年前までは、DODで言いますと、水質基準の40、30、20位のレベルでありました。現在ではDODでは5レベル位まで下がりました。これは下水が整備されたおかげで水質は良くなりました。しかし、そのおかげで水の量が減ってしまいましたが、川はきれいになり、ハゼ等泳ぐようになってきました。土木課が浚渫して砂を入れましてかなり川底がきれいになりました。困った事は風の向きによって大量のゴミが流れできます。上に乗ったら歩ける位の感じであります。しかし、風の流れによってゴミは、その日か次の日には、動いてしまいその場所には見当たりません。

先程、お話ししました公有水面といって、体育館と昔のマンモスプールの裏手のことですが、あそこはどこからゴミが入ってくるかと言いますと、新川港の所の入り口から風に乗って、川の流れに乗ってゴミが流れてくるんです。このゴミを無くして、きれいにしようと思いまして、船を購入してゴミ拾いを致しました。

私も船に乗ってゴミを取ったんですが、小さな船ですので、ゴミをタモですくう時に力を入れると船の舳先が廻ってしまう。又、網でゴミを拾ってみたりしたが、なかなかうまくいきません。

あのゴミは、衣浦湾の上流の刈谷の川から流れてきて、8号地先を1m50cm位から2m位の帯状になって日金工さんの舳先まで流れています。その帯状のゴミは大浜漁港の入口の橋の下の所に溜ります。ここでゴミを排除してしまえば、大浜漁港に流れなくなります。又、碧南の川にゴミを入れないよう「ゴミの流れ」を研究しています。

昨年、一年間新川港に入るゴミを網を張って、ゴミを川へ流れる前に取ってしまうようにしましたが、あれだけの量のゴミが網に溜ると力が大きくて、網が破れるようになってしまいます。そういうことをしながら碧南の川に一切ゴミを入れないように決意を持ってやっております。しかし、なかなか簡単ではありません。

又、浅い部分もありますが、水族館の裏のドロを県が30cm位取って頂き、水が流れるようになりました。網でゴミを抄うことが出来るようになりました。しかし、川のゴミ掃除は労力、人手のいる事ですので、私は今年で定年ですが、今後もボランティアで手伝っていきたいと思います。

次に騒音、震動ですが、特に大きな問題はありません。国道247号線の四車線化の所の音の苦情があります。

最後に市民の苦情の多いのは野焼きが一番です。

近隣でゴミを燃やしていると直ぐに苦情の電話がかかってきます。又、ビニールを燃やすと臭いとか洗濯物に臭いがつく等の苦情もあります。

全国的には、琵琶湖は、市民の人の同意を得て「よし」「あし」等の野焼きをして燃やしています。

又、地域によっては飛行機にて「明日、野焼きをしますので洗濯物を控えて下さい」と公報をされているところもあります。

油ヶ淵の「よし」は刈り取るには、労力が大変かかりますので、「よし」が立っているうちに燃やせないかなと思っておりますが、県はなかなか許可をしてくれませんので、今後の研究課題と考えています。

堤防管理者が、野焼きをする場合は問題がないと言われておりますが、全国的に野焼きをしている例もあります。そうしないと、その「よし」が湖の中に沈んで堆積し、湖が汚れてしまうことになります。基本的には、廃棄物は燃やしてはならない。ただし、800~900°Cを備えた焼却炉

で燃やす場合は良いです。しかし、家庭でそのような炉を持っている事はありませんので、一般的には家庭では燃やせないことになります。これが、ゴミを増やしている原因の一つであり、現実に衣浦衛生組合のゴミが大量に増えております。

次に地球温暖化の問題で、商工会議所にて講演会がありまして、それ以降、本も読み、文献も調べてみました。本では「環境問題のウソのウソ」、論文では「温暖化の疑問を持っている人の反論」を東北大学の研究グループが出しています。又、名古屋大学の研究グループは「6割減らせる」といった論文もあります。

温暖化は間違いなくおきています。ただし、世間で言われているようにすぐ海面が上がるということはありません。

ITCCという国際的な温暖化を研究しているグループは、100年でせいぜい60cmくらいしか海面は上がらないと言っています。温暖化で一番大きな問題は、海面上昇によって異常気象がおこる。最近では、ミャンマーにて大きなハリケーンが襲来し、甚大な被害が発生しました。このように大きな災害が増えてくることが考えられます。

砂漠化によって、農作物が出来なくなる。現実、アメリカ等が促進しているバイオ・エタノールの使用量が増えれば穀物の価格が上昇するような問題が起こります。絶滅危惧種等の動物・植物がどんどん減ってしまう。発展途上国等、弱い人程、最初に被害を受けるという事は、気の毒な事で目をつぶっておけない問題であります。温暖化はこのような問題がどんどん起きてしまう。

日本の発電所から出る、温排水の熱量は全家庭からの暖房より出る熱量の2倍出しているそうです。それを有効に使えば、小さな都市に小さな発電所の温排水を再利用して、暖房に使用すれば、ほとんどの暖房の熱量がまかなえます。このように、色々な都市の形態を変えて、研究し、技術を向上していくことにより、6割減らせるそうです。

この温暖化対策は、コストの問題があり、それが最優先ですから、金が儲からない対策は実現しません。

太陽光発電は効率が悪い。現在では、補助金を出しているが、補助金では、全部を貯えない。それがもっと効率が良くなるよう、技術開発されて、コスト的にpay出来る様になれば、普及するでしょう。

もう一つは、風力発電ですが、実際は火力発電所よりもコストがかかります。本に書いてあることですが、全世界的に風力発電の予備能力は全世界で使っているエネルギーの倍は作れる力はあると学者は言っています。

やりようによつては、コストを考えなければCO₂は減らせると言つています。後は、コスト論であり、100年先に人間が地球に住めなくなるとなれば、コストの事は言っておられません。

海面の問題で言いますと、海面上昇についてではないですが、グリーンランドと南極の氷が溶けると海面が5m～10m上がると言われています。現実、大陸棚の上に氷がのっている。南極等は2000m～3000mの高さに氷がのっています。これらが溶けたら大変な事になりますが、今世紀中には絶対溶けないと学者は言つております。又、ある学者は、南極は氷は増えるんだと言われていますが、調べてみるとそうではなく、今の所増えたり減ったりする要因はないですが、将来的には増える、減るという否定はされていません。北極の氷というのは、コップの中に水を入れて頂きますと溶けても水位は変わりません。北極の氷はどんどん溶けて減っていますが、水面の上昇はありません。ただし、アメリカやロシアは南極の氷が溶けたなら、その地下に莫大な資源があるとすることで、ロシアは旗をたてています。北極の海底に彼等は、温暖化よりも資源の先取りが大事のようです。

碧南のCO₂は議会でご質問を受けます。どれだけのCO₂があるのかということで、御承知の通り、愛知県の1/4の電力を碧南の火力発電所から出されています。碧南の火力発電所は石炭と

いうこともありますて、日本はヨーロッパと違い、石炭火力にかなり力を入れたようあります。同じエネルギーで電気をつくる場合CO₂の発生量の一番少ない場合はガスだそうです。次に石油、それから石炭となっています。ヨーロッパ諸国ではガス化をかなり進めているようです。日本は今後、発電業界は、原子力の発電所に期待している様ですが、原子力発電には全体的に反対が多いようですので、どうなって行くのかと思っています。碧南のCO₂の量ですが、簡単に計算できるものではありません。専門のコンサルタントに相談し、依頼して掌握することにより、今後、碧南でもCO₂を減らしていく取り組みを考えております。今現在やっていることは、啓蒙をしております。例えば、夏のクーラーを28°Cで設定、南の窓にゴーヤを植えるとかはしましたが、大失敗しました。サツキの根でゴーヤが腐ってしまいました。2年続けて失敗しました。昨年はプランターの土壌物で育てまして、大浜公民館・鷺塚公民館でたくさん取れましたので、自信がつき今年は出来た物を市民にプレゼントしようと準備しております。そのようなことをしながら温暖化の宣伝をしていきたいと思っています。昨年、隣の課長が自分の所にグリーンがなかったので暖かかったと言っていましたが、実際データを取ってみたいと思います。

安城市が実施したら2~3度違っていたようです。このようなことも市民に宣伝し啓蒙していく必要があります。

最後にゴミのことを言いますが、碧南市内に100ヶ所分別ゴミと資源ゴミを実施して頂いています。燃えるゴミは毎週2回実施しています。このゴミを減らしていきたいと思います。

燃えるゴミの中の4割が生ゴミで、3割が紙ゴミで、これがなくなりますと、ゴミはほとんどなくなります。

又、生ゴミを堆肥にすればという考えもありますが、とんでもないお金がかかります。碧南のゴミの収集は、全面的に100%町内会にお願いし、依存しております。昨年、コンサルタントに調査依頼してみたら、碧南は全国にまれにみる人口が増えている都市だそうです。なぜかといいますと、移入が多く、流入してくるそうで、出生が増えた訳ではなく、企業の景気が良く、外から集まって来たということです。

町内会に入る方は8割位で、西端ですと9割超えています。町内会に入会していない人は、町内会の運営している資源ゴミセンターを持って行くとイヤな顔をされるそうです。又、町内会に入っていない人は持ってきてはいけませんと看板が立っているところもあるそうです。町内会の当番をしない所は罰金を取るところもあると聞いております。良い面、悪い面もございますが、残念ながらゴミの増え方は、人口の増え方よりも同じ位か少し少しくらいですが、資源ゴミだけは毎年、着実に減っております。特に一番の碧南の特徴は自主回収というのが少ないとのことです。碧南全体では資源ゴミステーションで集団回収しており、年間3000t、一番多い時期に集団回収で1200tありました。

現在では、一番多い時期でも500t切っており、西尾市では、市が3500t位回収しており、4000tが市民の方が自主回収しています。名古屋市では、市が8万t回収しており、町内会等の集団回収で12万t。自主回収というのは大変ありがたい制度でありまして、費用はそれほどかかりませんが、町内会の方達に補助金を差し上げています。

ゴミの値段が先程中国の悪口を言いましたが、中国の市況の影響がありまして、非常に高いです。アルミ缶は120円/kg・ペットボトル45円/kgしていますから、昔ではなかったことです。

そのお金が入って、自主回収のお金が入ればかなり町内会も潤うのではないかと思っていますので宣伝して参りたいと思っています。

15年前からゴミの減量計画を進めておりますが、計画の見直し、よりよい提案がありましたら、何かとお知恵を頂きたいと思います。

最後に不法投棄の問題です。本当に困ります。全然減らないようです。放置しておけば、そこ

が山になってしまい、片付けても又、持ってこられるのでどうしたらよいのか分かりません。テレビ一台、電気屋へ持つていけば3000円以上の処分代がかかります。道路に放置されていれば市役所が回収して、市民の皆さんのが税金で処理し、片付ける訳です。

良心のない人は、金銭的なことを言うとそうなってしまう。最初から料金を徴収しておけば良かったと思ってしまいます。

車は最初に自動車リサイクル料を支払いますが、その時と同時にゴミも全部そのシステムにならなければ良かったと思います。

全国の自治体は先取り制を国に要望していますが、なかなか実現しません。

次に最終処分場の問題です。

碧南は西端に処分場がございます。幸いにして衣浦ポートアイランドがあったため、焼却灰は衣浦ポートアイランドにこの10年間全部入れてきました。これがもうすぐ終わります。

今後どうするのかと言いますと、衣浦3号地に県が処分場を作ろうとしています。平成22年の4月から出来ると言われています。最終処分場がなく、碧南の焼却灰を西端の処分場で処理をすれば数年で終わってしまいます。最終処分場は大問題で、商工会議所会頭の黒田会頭のご尽力もありまして、産業廃棄物の処分場衣浦ポートアイランドが平成22年で終わってしまうのを2年間延長することができました。1mの嵩上げをする事の許可を頂くことが出来、平成22年3月まで使用可能となりました。碧南の経済界のおかげだと思います。このままの計画ですと、平成22年の4月に武豊沖に処分場ができますので、そこでつなぐ事ができます。武豊沖の処分量の限度が15年ということですから、その先はどうなるのかだと思いますと、やはり最終処分場を長く使うには皆様方のゴミの量を減らす事が第一であると考えます。今後、ゴミの量をどう減らしていくかは、官民の課題であります。私の所にはゴミの苦情が衣浦衛生組合が休みになると、ひっきりなしにあります。毎日、市民の方からゴミの苦情がない日はありません。「カラスがつついで散乱したゴミをどうするのか」等、色々あります。何事もこれといった決め手はありません。着実に一つ一つ積み重ねていくしかありません。碧南の町をきれいにするため、引き続き奮闘して参りますので、市民の皆様方のご協力とご尽力を期待し、お願い申し上げて、簡単ではありますが、環境についてのお話しを終わります。

ありがとうございました。

次回例会案内 平成20年5月21日（水）

卓話 鶴ヶ崎区山車平成大修復完成記念行事開催にあたり

『山車大修復四方山話』

鶴ヶ崎区山車保存会 会長 板倉 昭正氏